

ポイント

言葉は、何を表しているか、どのようなはたらきをしているかによって、いくつかの種類に分けることができます。
 また、言葉には、いつでも形が同じものと、使い方によって形が変わるものがあります。「話す」「話さ(ない)」「話し(ます)」などのように、あとに続く言葉によって言葉の形が変わることを「活用」といいます。

●名詞 (物やことからの名前を表す言葉)

- ・あとにどんな言葉が続いても形は変わりません。
- ・名詞にはいくつか種類(普通名詞・固有名詞・数詞・代名詞)があります。人名や国名、数字なども名詞です。
- ・主語になることができます。

《例》本・動物・アメリカ・富士山・五本・わたし・それ

●動詞 (動作や存在などを表す言葉)

- ・あとに続く言葉によって、形が変わります。(活用する言葉)
- ・終止形(言い切り)は「ウ段」の音で終わります。

《例》歩く・学ぶ・起きる・植える・来る・勉強する

名前

言葉のきまり

学習日

月

日

得点

100点

●形容詞 (様子や性質を表す言葉)

- ・あとに続く言葉によって、形が変わります。(活用する言葉)
- ・終止形(言い切り)は「い」で終わります。

《例》おいしい・赤い・多い・早い

●形容動詞 (様子や性質を表す言葉)

- ・あとに続く言葉によって、形が変わります。(活用する言葉)
- ・終止形(言い切り)は「だ」で終わります。

《例》静かだ・にぎやかだ・やわらかだ

●形が変わる (活用する) 言葉の例

未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
書か(ない) 書こ(う)	書き(ます) 書い(た)	書く(。)	書く(とき)	書け(ば)	書け(。)
明るかる(う)	明るかつ(た) 明るく(なる)	明るい(。)	明るい(とき)	明るけれ(ば)	
清らかだろ(う)	清らかだつ(た) 清らかで(ない) 清らかに(なる)	清らかだ(。)	清らかな(とき)	清らかなら(ば)	

← 次のプリントにつづく

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくはこちら!

Z会の本



かわいい小学生になろう

1 次の各組みの言葉の中で、ほかと言葉の種類がちがうものを一つずつ選び、○で囲みなさい。(各3点)

1 信じる おおげさだ ほがらかだ ゆるやかだ

2 うす暗い なつかしい あれ こわい

3 夏休み 遊園地 願い 正しい

4 運転する 明らかだ 思い出す 引く

2 次の文の——の言葉の種類が名詞ならア、動詞ならイ、形容詞ならウ、形容動詞ならエを()に書きなさい。(各4点)

1 タ焼けに () そまる () きれいな () 海岸を () ながめる ()

2 ここは、 () 冬の () 寒さは () きびしいが、 () 夏には ()

さわやかな風が () ふく () 町だ。 ()

3 次の文の——の言葉を、言い切りの形(終止形)に直して(各5点)

1 主役を見事に演じる。

2 敵は思ったより強かった。

4 次の言葉を()にあう形に活用させて、書きなさい。(各6点)

1 おだやかだ ↓ 友人は () 性格だ。

2 軽い ↓ もう少し () ば、運べる。

5 次の文の中から動詞をすべてぬき出し、言い切りの形(終止形)に直して()に書きなさい。(すべてできて10点)

・かれは、時間におくれずにむかえに来たようだ。

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくはこちら!

Z会の本



かわいい小学生になろう